10塚根山古墳

であるう。 た人を置(室)があり、このあたりの豪族の墓 古墳時代後期の円墳。横穴式石室(葬られ



(面完集等)

草木を描いた「天井枡絵」がある。 鎌倉時代の作と伝えられる。本堂の天井には薬用 本尊の阿弥陀如来像と仁王門の金剛力士像は、



❸小釜の常夜燈

を果たした。 瀬舟の灯台として役目 され、成羽川を行く高 安永4年(1775)建立



出る 一小平園

P三村氏成羽城跡

*

した神社である。

天文2年(1533)三村家親が勘請して建立

®大元八幡神社

15天玉山古墳:

卍 ⑥源樹寺 度神社

高品養

6勘定所助

耳

→ 大 本 中 田

德門橋

17フラット

**** 裁羽川

4.星鷹丁武家屋敷町並

神楽橋



5鳥挿地蔵

に悩まされた鷹匠(鷹を訓練 生けにえとなった小鳥の悲鳴 め建立した地蔵。 した役人)が小鳥の供養のた



本丸は東西33m、南北23m。





んでいる。位牌堂には、歴代藩主の位牌が置かれている。 主を葬った墓所は、本堂の北側にあり、大きな墓石が並 万治2年(1659)山崎豊治が菩提寺として建立した。藩



成羽美術館 **②柳丁武家屋敷町**並

卍

成羽橋



×



4星鷹丁武家屋敷町並

往時の姿をよくとどめている。 星原丁、鷹部屋丁、本丁、裏丁、柳丁が武士の住む屋敷町だった。

◎柳丁武家屋敷町並

木、秋岡家など。 すのは、坂田門、井上、赤 敷があった。昔の姿を残 本丁につぐ格の武士の屋





●小平園

明治30年(1897)の教科書にも取り上げられた。 突撃ラッパを息が絶えるまで吹き続けた。この行為が称賛され 新山出身の木口小平は、日清戦争の時、胸に銃弾を受けたが、

中心場所であった。

物である。山崎藩の行政の なっていて、防火を考えた建 まま屋根につながった構造に 紋が入っている。土塀がその 鬼瓦には、山崎氏の扇の家 ◎勘定所跡





親の墓碑がある。小堀遠州12歳時に造ったと云われる庭園がある。 永禄9年(1566)三村元親が父家親を弔うために創建した。家親、元



10三村氏成羽城跡

成羽城を構築した。 常陸(茨城)国より三村家親は、成羽に進出し、天文2年(1533)



③大神宮(山田神社)

を知ることができる。 が刻まれ、当時の商圏の広さ 阿波、九州などの船問屋の名 政4年(1857)建立の玉垣には、 伊勢神宮の分霊社である。安



高梁市成羽町下原605-3 TEL.FAX 0866-42-4325 成羽町観光協会

たは鳴輪」と 成羽の地名は、

安時代の書物)には



2日 高 天 領 聚 等

御蔵門がある。 よって造営された。総坪数7694坪。東から御作事門、大手門、 寛永16年(1639)水谷勝隆、万治元年(1658)山崎豊治に